

算数科の目標
<p>・加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにする。</p> <p>・長さ、重さ及び時間の単位と測定について理解できるようにする。</p> <p>・図形を構成する要素に着目して、二等辺三角形や正三角形などの図形について理解できるようにする。</p> <p>・数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。</p>

学習すること	
前期	<p>○かけ算 ○時こくと時間のもとめ方 ○わり算 ○円と球 ○たし算とひき算の筆算 ○暗算 ☆考える力をのぼそう</p> <p>○あまりのあるわり算 ○大きい数のしくみ ☆かたちであそぼう</p> <p>○かけ算の筆算1 ☆どんな計算になるのかな ○大きい数のわり算</p>
後期	<p>○長いものの長さのはかり方 ○小数 ○三角形 ○分数 ○□を使った式 ☆考える力をのぼそう</p> <p>○かけ算の筆算2 ○ぼうグラフと表 ○重さのたんいとはかり方 ☆考える力をのぼそう ○そろばん ☆3年のふくしゅう</p>

算数科の評価

<p>・算数科では4つの観点で評価します。</p>			
算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解
<p>数理的な事象に関心をもつとともに、知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする。</p>	<p>数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付けている。</p>	<p>整数などの計算をしたり、長さや重さなどを測定したり、図形を構成要素に着目して構成したり、数量の関係を表したり読み取ったりするなどの技能を身に付けている。</p>	<p>数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数、小数及び分数の意味と表し方、計算の意味、長さや重さなどの単位と測定の意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解している。</p>
<p>・次のような方法で見していきます。</p>			
発言内容	ノートのまとめ方	プリント	テスト
取り組む様子	計算練習 練習問題	作品作り	学習態度 ドリル カード作り